

質問事項に対する回答書⑤

(件名) 北陸自動車道 桑取川橋PCグラウト充填工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	4月9日	02_特記仕様書	P21 P24	22-4-5 施工 22-6-3 施工	<p>PCグラウト充填調査A1(広帯域超音波法)の調査につきまして、02_特記仕様書 8ページ貸与資料の「広帯域超音波法を用いたPC橋グラウト充填調査マニュアル」に記載されているように、調査対象ケーブルの測定を実施したときに“充填不足”及び“充填不足の可能性”がある場合、超音波ドリルによる削孔調査を実施します。これは、最終判定をおこなう上で「充填不足の可能性」の傾向を見たり、最終判定のときになるべく△(充填不足の可能性)を減らすために削孔調査を実施します。そのため、「広帯域超音波法を用いたPC橋グラウト充填調査マニュアル」の運用システムでは、広帯域超音波法を用いた調査に超音波ドリルによる削孔調査が含まれております。</p> <p>一方で、本工事では、広帯域超音波法を用いた調査(PCグラウト充填調査A1)と超音波ドリルによる削孔(コンクリート削孔A)がそれぞれ別の項目で計上されておりますが、交付図書記載の通り、別々の項目で計上すればよろしいでしょうか？</p> <p>もしくは、コンクリート削孔Aについては、「広帯域超音波法を用いたPC橋グラウト充填調査マニュアル」に関わらない、別途の「削孔調査単体」として考えるのでよろしいのでしょうか。ご教示願います。</p>	交付図書に記載のとおり別々の項目で計上ください。